



南アルプス市立 白根飯野小学校 学校だより  
学校教育目標  
「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

9月号  
令和3年9月1日  
編集 校長 岡こすえ

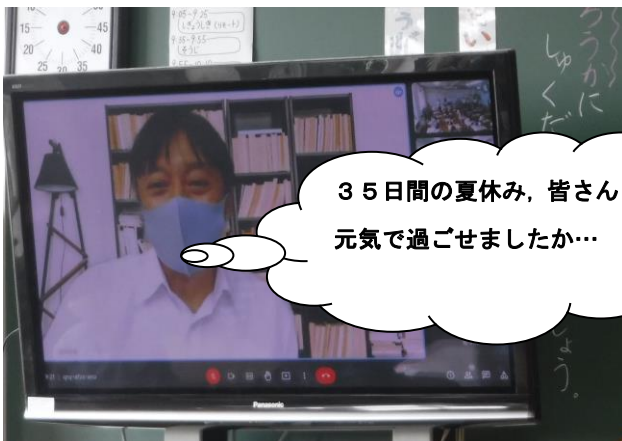
[www.iino.m-alps.ed.jp/](http://www.iino.m-alps.ed.jp/) 白根飯野小学校学校ホームページにも毎月掲載しています

## 8月24日（火）リモートによる始業式を行いました。

学校に子どもたちの元気な声に戻ってきました。夏休み期間中もコロナ禍での自粛生活や梅雨のような天候不順などで外に出掛ける機会も減り、何かと我慢することの方が多かったのではないのでしょうか。

さて、今学期の始業式は、児童と教職員が体育館に集まることができなかったため、リモートによる始業式を行いました。子どもたちの姿が見えず、一方的な話になってしまわないかという不安もあり、対面ではないことの難しさを改めて感じました。しかし、どのクラスも児童のみなさんが、真剣に話を聞いてくれたことを知り、とても嬉しかったです。

学校が始まって1週間が過ぎました。連日、各地で熱中症警戒アラートが発令されるなど厳しい残暑が続いています。夏の疲れが出る頃ですが、これからも規則正しい生活に心がけ、元気に楽しく学校生活を送ってほしいと思います。



35日間の夏休み、皆さん  
元気で過ごせましたか…



☆井上教頭先生☆

☆5年1組教室☆



「王様じゃんけん」  
を楽しむ1年生



☆トウモロコシの収穫と草取り作業をする2年生

## ～始業式での学校長の話より～

○元気に登校してくる皆さんの様子を見て、とても安心しました。

今年の夏休みも皆さんがプールや、図書館に来る機会がなかったので、どんなふうにご越ししているのかとても心配していました。でも、夏休みの課題や荷物を持って登校してくる皆さんが、話しかけてくれて、なぜか涙が出そうになりました。実は、昨日まで、私は始業式にどんな話をしたらいいのか迷っていました。それは、皆さんのご家族が、安心して皆さんを送り出してくれるだろうか、学校に来ることを楽しいと感じてくれるだろうか…と、あれこれ心配ばかりして、なかなか言葉が見つからなかったからです。体育館で話せないのが残念ですが、今朝、皆さんに会えて、一人一人の児童が、私にとっての「希望」というか、エネルギーを与えてくれる存在だと改めて思いました。ありがとう。

○さて、いよいよ2学期が今日からスタートします。

2学期は84日間。運動会や校外学習、修学旅行など楽しい行事もたくさんあります。しかし、私たちの住んでいる地域でも、蔓延防止等重点措置が適用され、新型コロナウイルスの感染がこれ以上広がらないようにさまざまな対策が取られることになりました。

学校は、集団生活をするところです。この後、保健室の相原先生や生活指導担当の深澤先生からも「学校生活で気を付けてほしいこと」のお話がありますので、学校での過ごし方のルールについて耳を澄まして聴いてほしいと思います。

さて、いつも言っていることですが、「学校が楽しい」と全員が思える学校とは、どんな学校でしょうか。教室に掲示してある「よくわかる飯野小学校」に「いじめの傍観者をつくらない」とあります。もし、友達がいじめられていたら、見て、見ないふりをしてはいけません。勇気を出して、必ず声をかけてほしいと思います。

「言葉」を大切にしましょう。心の中はなかなか見えにくいものです。だから、相手のことを思いやり、言葉遣いには気を付けましょう。

「自分が言ったことで、相手はどう思うだろうか…」これが「想像力」です。「想像力」は大事です。しっかり勉強して頭を鍛え、賢くならないと「想像力」は育ちません。勉強すること（学ぶこと）を止めてしまうと、人の気持などわからない人になってしまいます。

一生懸命勉強しましょう。

○「素晴らしい日は遠くにあるのではない。それは、今日のことだから」…略

「絶望的な状況はない。絶望する人間がいるだけだ。」…略

ちょっと、難しかったかもしれませんが、「学校は楽しいところ」という意味を感じてもらえたでしょうか。先生方も、皆さんの心を鍛え、輝かせるために、一生懸命にできるだけの工夫をして頑張ります。

今朝、「コロナが流行っているのに、どうして学校が始まるの？」と、ある児童に言われました。それは、心と体を鍛えるには、学校が必要だからと、自信をもって答えることができます。どうですか？段々ワクワクしてきましたか？今まで以上に健康管理に気を付けて楽しい学校生活を送れるように頑張りましょう。